



つなぎ つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和8年10月20日

第84号

江別市教育委員会

総務課・学校教育課

3つの小学校の子どもたちが集い、共に学ぶ！



完成したモザイクアート！

～野幌中学校区 中学校登校～

9月29日（火）に野幌中学校区の中学校登校が行われました。野幌小、東野幌小、野幌若葉小の6年生が野幌中学校を訪問し、中学3年生の合唱の鑑賞や、3つの小学校（「3小」）合同での共同制作活動を行いました。

前段は、「野中祭」を目前にした各学級の合唱を交流する中学3年生の合唱交流会を鑑賞しました。小学生の子どもたちは、先輩たちの合唱に向かう姿勢や歌声を直接目の

のあたりにし、目を輝かせて聞き入っていました。3年後の自分たちの姿を想像し、先輩たちへのあこがれの気持ちや今後行われる小学校の学習発表会に対する意欲もさらに強まったようです。児童からは「中学生のきれいな合唱と姿勢のすばらしさ、中学校生活に対する前向きな思い」に関する感想が多く出されました。また、中学生からも「先輩としての姿や意識」を考えた感想が多くあり、小中双方にとって有意義な取組となりました。

後段では、「3小」の児童が混ざり合う6グループでモザイクアートを作成しました。誕生月によって決められた色を1人1色ずつ担当し、指定されたマス目に着色していきます。制限時間25分間で全160枚を塗り終わるために、小学6年生は徐々にお互いに声を掛け合って作業を進め、自然と打ち解け合う姿が見られるようになっていきました。モザイクアートが完成すると、大きな歓声が上がり、お互いをたたえ合う等、達成感を感じていたようです。

野幌中学校区では、「3小」の児童が自然と交流できる場面を設定し、中学入学後の生活へスムーズに移行できるような取組を進めています。



中学3年生の素敵なハーモニーを小学6年生が真剣な眼差しで鑑賞



感想を発表する児童



「3小」の児童が力を合わせてモザイクアートを制作

地域の人材を活用した授業、実践の整理・発信

～文京台小での石狩教育局社会教育巡回訪問～

北海道教育庁石狩教育局による市内2つ目の社会教育巡回訪問が10月5日（月）に行われました。当日は、小学2年生と4年生が「北海若衆太鼓」の講師の方2名を招き、和太鼓の体験活動を行っており、その学習の様子も石狩教育局の方に参観していただきました。

文京台小は、今年度開校40周年を迎えましたが、開校以来、文京台地区の皆さんが見守り活動や読み聞かせ、図書整備のボランティア等の活動を通して、子どもたちの学びをサポートしてくださっています。また、北翔大との連携協定を結んでおり、たくさんの大学生が学習支援ボランティアとして活躍してくださっています。さらに北翔大の副学長や職員の方が学校運営委員になり、文京台CSの活動や熟議に参加し、過去にはCS主催の防災教室等の取組も進めてくださいました。

今年度はこれらの地域学校協働活動の様子を可視化する取組として、「サポーターズプレス」（「つなぎ つむぐ」第78号参照）を新たに作成・発行しています。学校と地域の連携についての発信や新たな参加者の掘り起こし等、複数の目的・効果につながる取組となっています。

石狩教育局との協議では、各種取組への質問や賞賛の意見がたくさん出され、「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」を着実に推進している文京台小の実践が高く評価されました。



音楽科（和太鼓体験）の授業



石狩教育局との協議

音楽を楽しみ、素敵な合唱を聴いて学ぶ！

～第二中学校区 小中合同音楽広場・学校祭合唱鑑賞～

9月29日（火）に、第二小学校を会場にして、第二中学校区の特別支援学級による「合同音楽広場」が行われました。子どもたちは、外部講師の指導の下、音楽に合わせた身体表現やコミュニケーション活動を楽しみました。

最初は少し緊張していましたが、音楽が流れると心も体もほぐれていき、自然と笑顔が広がる等、小学生と中学生が仲良く交流する姿がたくさん見られました。また、活動中には、中学生が優しく小学生に声をかけ、手本を見せてリードしてくれました。中学生にとっては「下級生を思いやる優しさとリーダーシップ」を発揮するよい機会となり、小学生にとっては「中学校への安心感と見通し」をもつ時間となりました。

また、小学6年生が第二中の学校祭に参加し、中学3年生の合唱コンクールを鑑賞する取組も行いました。子どもたちは真剣な表情で歌声を聴き、よりよい合唱を目指して全員で一生懸命歌う先輩の姿を観覧して、深く感銘を受けたようです。また、間近に迫った小学校の学芸発表会に向けての意欲もさらに高まっていました。



合同音楽広場



合唱コンクールの鑑賞

